

4-2 生涯にわたって誰もがスポーツに親しみ、生き生きと過ごせるまち【スポーツ】

施策13 市民スポーツの振興

目的

対象 …… 市民

意図 …… 誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる
スポーツを通して交流がはぐくまれる
誰もがスポーツを通して心身ともに健康になる

施策と関連するSDGsの目標（ゴール）



施策の方向

年齢や障害等を問わず、広く市民がスポーツに親しみ、楽しめる環境を整備します。また、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを継承・発展させ、スポーツを通して市民の交流が盛んになるまちを目指します。

施策のポイント

- 「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」の理念に基づいた、年齢や障害の有無にかかわらず、誰もがスポーツに親しむことができる機会の創出
- 市民ニーズを踏まえたスポーツ施設の利用環境の向上、安全で快適な市民のスポーツ環境の整備
- 障害者スポーツの振興等を通じた共生社会の充実
- FC東京等の様々な主体と連携した市民スポーツの振興

基本的取組の体系

施策13 市民スポーツの振興

13-1 スポーツ環境の整備

13-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

13-3 FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進

重点

▶ スポーツ施設の整備

▶ 調布市スポーツ協会事業の支援

4 ▶ 東京2020大会等のレガシーの継承・発展

▶ FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進

基本計画事業

- 国は、令和4年3月に第3期スポーツ基本計画を策定し、国民がスポーツを「する」「みる」「支える」ことを真に実現できる社会を目指すため、「つくる／はぐくむ」、「あつまり、ともに、つながる」「誰もがアクセスできる」という3つの新たな視点の下、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のスポーツ・レガシーの継承・発展に向けた今後の日本のスポーツ施策の具体的な方向を示しました。
- 東京都は、平成30年3月に策定した東京都スポーツ推進総合計画に基づき、「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する『スポーツ都市東京』の実現」を目指すとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーを今後どうスポーツの振興に生かし、都市の中で根付かせていくか、その姿を示すため、令和4年1月に、「TOKYOスポーツレガシービジョン」を策定しました。
- 令和元年（2019年）のラグビーワールドカップでは、東京スタジアム（味の素スタジアム）で開会式、開幕戦を含む8試合が行われ、約38万人が来場しました。また、調布駅前広場周辺で開催されたファンゾーン（東京都主催）には、16日間で約13万人が来場しました。大会を契機として、ラグビーを通じたスポーツ振興をはじめ、地域経済の活性化、青少年の健全育成等の多岐にわたる分野において実践した取組を後世に残すべく、令和3年4月に東芝ブレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、調布市、府中市、三鷹市の5者による連携協定を締結し、地域一体となってラグビー競技の普及に取り組んでいます。
- 1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、市内の3つの競技会場（東京スタジアム（味の素スタジアム）、武蔵野の森総合スポーツプラザ、都立武蔵野の森公園）において、6競技が開催され、その後、これらの競技会場を含むエリアについては、大会開催を象徴する場所として「武蔵野の森オリンピック・パラリンピックパーク」と名付けられ、大会の感動と記憶を後世に永く伝えられることになりました。大会を契機とした有形・無形のレガシー創出のため、これまで展開してきたソフト・ハード両面にわたる取組については、一過性のものとせず、大会のレガシーとして継承・発展させていく必要があります。
- 市は、市民のライフステージに応じたスポーツ活動の推進を図るため、調布市スポーツ協会¹や各競技団体と連携し、市民がスポーツを「する」・「みる」・「支える」機会の創出に努めています。
- 市は、令和元年8月に一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟と協定を締結し、車いすバスケットボールを通じた障害者スポーツの普及・振興事業や共生社会の充実に資する事業などについて相互協力を図っています。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーとして、共生社会の更なる充実に資するため、大会を契機にこれまで関係性を構築してきた競技団体等の様々な主体と連携し、障害者スポーツ体験会や子ども達へのパラリンピック教育の実施等、パラスポーツに親しむ機会の創出を図っています。また、東京都等との連携により設置した、スポーツ分野と福祉分野の関係団体で構成する「調布市障害者スポーツの振興における協議体」において、障害の有無に関わらず、誰もがスポーツに親しみ、楽しむことができる環境づくりに努めるとともに、多摩地域の広域連携事業である「東京都市町村ポッチャ大会」の開催により、多摩地域全体での広域的な障害者スポーツの振興にも取り組んでいます。
- FC東京と連携したまちづくりの推進を図るため、庁内のプロジェクト・チームや庁内関係部署との情報交換会を活用し、子どもサッカー体験教室や初心者フットサル教室等のスポーツ分野の事業のみならず、青少年の健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等の様々な分野でFC東京との連携事業を実施しています。また、FC東京の株主であるホームタウン6市で連携し、地域全体でのスポーツ振興にも取り組んでいます。



< 武蔵野の森総合スポーツプラザ >

1 調布市体育協会は令和5年4月1日に「調布市スポーツ協会」へ名称変更

- 今後、市においても平均寿命が更に延びていくと見込まれる中、健康長寿の延伸にも結びつくよう、子どもや高齢者、障害者など、誰もが気軽にスポーツに参加できる機会の充実や環境づくりの重要性が増していくと考えられます。
- スポーツ関係団体やFC東京等のプロスポーツチーム等とも密な連携を図りながら、より多くの市民が主体的にスポーツ活動に取り組むことができるよう、今後も引き続き、「する」「みる」「支える」の視点に基づいた、市民がスポーツに親しめる機会の充実や環境づくりを推進する必要があります。
- 全国的な少子化を踏まえた部活動の持続可能性の確保のため、スポーツ庁の「運動部活動の地域移行に関する検討会議」において、指導者や活動場所を含めて現在の学校単位の活動から地域単位の活動に移行する提言がなされました。この提言を受けた国のガイドラインなどを踏まえ、教育委員会と連携した対応を図る必要があります。
- 市民が安全・安心で快適な環境のもとで、スポーツ活動に取り組むことができるよう、既存のスポーツ施設の計画的な修繕・改修や、設備機器の更新を実施する必要があります。



基本的取組の内容

13-1 スポーツ環境の整備

◆ 「する」スポーツ環境の充実

スポーツ施設をより効率的かつ効果的に維持管理・運営していくために、調布市公共施設マネジメント計画や各施設の利用実態、老朽化の状況などを踏まえ、維持保全や改修工事を計画的に実施するとともに、市民ニーズを踏まえた安全で利便性の高いスポーツ施設の整備に努めます。

また、東京都や民間スポーツ施設、学校施設の活用によるスポーツ施設の充実を図ります。

◆ 「みる」スポーツ環境の充実

味の素スタジアムや武蔵野の森総合スポーツプラザで開催されるプロスポーツチーム等の試合や国際・全国大会等の観戦事業を実施し、市民がスポーツを「みる」機会の充実を図り、スポーツへの関心を高めます。

◆ 「支える」スポーツ環境の充実

応援アスリート事業や国際・全国大会報奨金制度を活用し、市にゆかりのあるアスリートを応援し、支える取組を推進します。また、調布市スポーツ協会と連携し、スポーツ教室や地域のスポーツ大会、報奨金制度の活用など、スポーツ活動を通じて、次代を担う優秀なスポーツ選手の発掘・支援に取り組めます。

◆ スポーツ・レクリエーション情報発信の充実

より多くの市民がスポーツ・レクリエーションに関心を持ち、その活動に主体的に参加できるよう、スポーツ・レクリエーション情報の充実を図り、市ホームページやSNS等を活用してスポーツに関する情報を分かりやすく魅力的に発信します。

まちづくり指標

まちづくり指標	基準値	目標値
体育施設の年間利用者数	80万 1,908人 (令和3年度)	106万人 (令和8(2026)年度)

基本計画事業

No.	48				
事業名	スポーツ施設の整備		区分	継続	担当課
事業の概要	市民が安全で快適にスポーツ施設を利用できるよう、計画的な維持保全・改修を行います。				
年度別計画	令和 5(2023) 年度	令和 6(2024) 年度	令和 7(2025) 年度	令和 8(2026) 年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ○基地跡地運動広場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド改修工事等 ○総合体育館整備 <ul style="list-style-type: none"> ・非常照明用蓄電池整流器交換工事等 ※プールトップライト改修への対応 ○西調布体育館 <ul style="list-style-type: none"> ・調査検討（代替機能） ○西町サッカー場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・シャワー設備設置工事 ○深大寺テニスコート整備 <ul style="list-style-type: none"> ・防球ネット改修工事 ○体育施設修繕 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・屋上防水改修工事 ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・設計（代替機能） ○西町野球場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド改修工事 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修設計等 ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・機能移転工事 ○西町少年野球場整備 <ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド改修工事 ○深大寺テニスコート整備 <ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート改修工事 ○緑ヶ丘テニスコート整備 <ul style="list-style-type: none"> ・照明設備改修設計 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・大規模改修工事等 ○継続 ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・シャワー施設設置設計 ○継続 ○継続 <ul style="list-style-type: none"> ・照明設備改修工事等 ○継続 	
事業費 (百万円)	117	185	387	854	



< 総合体育館 >

13-2 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

◆誰もがスポーツに参加できる機会の充実

より多くの市民が生涯を通してスポーツに親しむことができるよう、それぞれの年齢や体力等に応じた、各世代のニーズに合わせたスポーツへの参加機会の充実を図り、誰もがスポーツに親しめる機会の創出に取り組めます。

◆地域スポーツクラブ等の育成・推進

公益社団法人調布市スポーツ協会や調布市スポーツ推進委員会、特定非営利活動法人調和SHC倶楽部等と連携し、市民の健康増進及び体力向上等を目的とした市民スポーツの振興を図ります。

◆東京2020大会等のレガシーの継承・発展

各大会の開催を契機にこれまで関係性を構築してきた様々な主体と連携した市民スポーツの振興を図ります。とりわけパラリンピック開催を契機として障害者スポーツの振興事業の継続と定着を図るため、「調布市障害者スポーツの振興における協議体」を活用した障害者スポーツを通じた共生社会の充実や、一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟及び特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会等との連携によるパラスポーツの普及・啓発と障害理解の促進を図ります。

多摩地域の広域連携事業「東京都市町村ポッチャ大会」の継続開催や、東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリーサンゴリアスの両チームと調布市・府中市・三鷹市との5者協定によるラグビー競技普及など、他自治体等との連携による多摩地域全体でのスポーツ振興の取組を推進します。また、ボランティアの活用によるスポーツの支え手の育成を図ります。

調布市にゆかりのあるアスリートを「調布市応援アスリート」として認定し、市をあげて応援することにより、アスリートのさらなる飛躍を期待するとともに、市民が一体となって応援し、交流を図ることでの市民スポーツの振興に取り組みます。

◆地域における子どもの運動・スポーツ機会の確保

身近な地域で子どもがスポーツを楽しめる環境づくりを進めるため、様々な主体と連携した事業実施により子どものスポーツへの参加機会を確保するとともに、教育委員会と連携した子ども達の運動機会の確保と体力向上に向けた取組を推進します。

まちづくり指標

まちづくり指標	基準値	目標値
運動を週に1回以上行っている市民の割合	69.0% (令和4年度)	73.0% (令和8(2026)年度)

基本計画事業

No.	49						
事業名	調布市スポーツ協会事業 ¹ の支援			区分	継続	担当課	スポーツ振興課
事業の概要	「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり宣言」の理念に基づき、調布市スポーツ協会への支援や相互の連携を図り、市における体育・スポーツの振興を目的とした事業を実施します。						
年度別計画	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度			
	○調布市スポーツ協会事業への支援及び連携 ・市民体育祭 ・市民スポーツまつり ・市民駅伝競走大会 ・リフレッシュ体操スクール等	○継続	○継続	○継続			
	○東京2020大会等のレガシーの定着・継承・発展	○継続	○継続	○継続			
	○「豊かな芸術文化・スポーツ活動を育むまちづくり」の推進	○継続	○継続	○継続			
事業費(百万円)	38	40	40	40			

1 調布市体育協会は、令和5年4月1日に「調布市スポーツ協会」へ名称変更



< 市民駅伝競走大会 >

No.	50				重点4	
事業名	東京2020大会等のレガシーの継承・発展		区分	継続	担当課	スポーツ振興課
事業の概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機とした多様な主体との連携を強化し、様々な角度から市民スポーツの振興を図ります。また、障害者スポーツの振興を通して、障害理解の促進や障害当事者の運動機会の創出を図り、共生社会の充実に向けた取組を推進します。					
年度別計画	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度		
	○障害者スポーツの振興 ・協議体の活用 ・障害者スポーツ体験会 ・日本車いすバスケットボール連盟や日本ブラインドサッカー協会等との連携 ・市町村ポッチャ大会 ○ラグビー5者協定に基づく取組 ○教育委員会との連携事業 ・ジュニア陸上体験教室等	○継続	○継続	○継続		
事業費(百万円)	10	10	9	10		



< 市町村ポッチャ大会 >

13-3 FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進

◆FC東京との協働のまちづくり

味の素スタジアムを本拠地とするFC東京とのパートナーシップの更なる強化を図り、スポーツ分野のみならず、青少年健全育成、文化、福祉、地域経済活性化等の様々な分野で連携したまちづくりに取り組みます。また、FC東京の株主であるホームタウン6市の連携により、地域のスポーツ振興を図ります。

◆地域ゆかりのチームや選手を通じたスポーツ振興

連携協定を締結している東芝ブレイブルーパス東京及び東京サントリリーサンゴリアスをはじめ、NTT東日本バドミントン部や読売巨人軍などと連携したスポーツの振興を図ります。

◆スポーツを契機としたにぎわいの創出

市内で開催される国際的・全国的な規模のスポーツ大会や、プロスポーツの試合を契機とした市民スポーツの振興はもとより、地域や関係団体等との連携、また庁内の横断的な連携による取組により、スポーツによるまちのにぎわいの創出を図ります。

まちづくり指標

まちづくり指標	基準値	目標値
FC東京等スポーツチームとの連携事業数	39 (令和3年度)	180 (令和5(2023)～令和8(2026)年度の4箇年累計)

基本計画事業

No.	51						
事業名	FC東京等様々な主体と連携したスポーツ振興等の推進			区分	継続	担当課	スポーツ振興課
事業の概要	FC東京が行う地域貢献活動を支援し、市民スポーツの振興、青少年の健全育成、福祉、地域振興等のまちづくりを協働で推進します。また、東芝プレイブルーパス東京、東京サントリーサンゴリアス、NTT東日本バドミントン部、読売巨人軍と連携した様々な事業展開により、市民スポーツの振興を推進します。						
年度別計画	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	令和8(2026)年度			
	<ul style="list-style-type: none"> ○競技体験や教室等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもサッカー体験教室 ・大人向けフットサル教室 ・ラグビー体験 ・NTT東日本バドミントン部 地域感謝祭 等 ○観戦機会の創出 ○各チームに関する情報発信 ○情報交換会や庁内プロジェクトチームを活用した応援企画の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 			
事業費(百万円)	3	3	3	3			



< 味の素スタジアム >



< 青赤ストリート >



施策の推進，成果向上の視点に関する取組の方向

デジタル技術の活用

- キャッシュレス決済の導入を検討し，各施設の利便性の向上に取り組みます。
- 市民にとってより身近で利用しやすい施設となるよう，SNS等を活用した情報発信に取り組みます。
- 施設利用予約システムの更新により，施設の利便性向上に取り組みます。

共創のまちづくり

- FC東京をはじめとしたプロスポーツチームなどの様々な主体と連携し，市民がスポーツを「する」「みる」機会を充実させ，スポーツに親しめるよう，市民スポーツの振興に取り組みます。
- 民間企業やボランティア団体等との連携により，市内で開催されるスポーツ大会やイベント等において，市民が支え，交流する機会を創出し，オール調布でスポーツの機運を高めることによる市民スポーツの振興を図ります。

脱炭素社会の実現

- 設備改修・修繕と併せて，照明設備のLED化などスポーツ施設の省エネルギー化を推進します。

フェーズフリー

- 災害時協力協定に基づく災害時のスポーツ施設の活用について，備蓄品の整備や対応マニュアルの作成等に取り組みます。

